

## 今期業況天気図

### 今期業況天気図

期間：令和6年7月～9月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲19と、前期▲19と同じであった。  
業種別では、製造業は▲20（前期差6ポイント増）と改善。飲食業・サービス業は▲17（前期差±0ポイント）は前期と同様で、小売業・卸売業が▲26（前期差3ポイント減）と建設業は▲17（前期差5ポイント減）が小幅の減少であった。  
今年に入り、製造業はゆるやかに回復が続き、その他の業種は足踏みが続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲7	▲4	▲10	▲16	▲4
採算	▲21	▲19	▲18	▲31	▲19
仕入単価	▲64	▲77	▲69	▲77	▲49
販売単価	17	21	12	35	10
従業員	25	14	39	22	27
資金繰り	▲15	▲19	▲12	▲17	▲13
今期業況 (総合判断)	▲19	▲20	▲17	▲26	▲17
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

### 参考) 今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和5年10月～ 12月期					
2四半期前 令和6年1月～ 3月期					
1四半期前 令和6年4月～ 6月期					
今期 令和6年7月～ 9月期					

今期業況天気図

**今期業況天気図(小規模事業者)**

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間: 令和6年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲24(前期差2ポイント増)で天気図は「小雨」。飲食業・サービス業は▲21(前期差4ポイント増)で小幅の改善であり、製造業は▲28(前期差2ポイント増)、小売業・卸売業は▲38ポイント(前期差±0ポイント)、建設業は▲17(前期差1ポイント減)で前期からほぼ変わらなかった。小売業・卸売業の不調が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲14	▲19	▲9	▲25	▲9
採算	▲25	▲26	▲19	▲44	▲21
仕入単価	▲63	▲74	▲68	▲73	▲47
販売単価	10	13	10	25	2
従業員	22	12	39	15	20
資金繰り	▲20	▲24	▲14	▲29	▲18
今期業況(総合判断)	▲24	▲28	▲17	▲38	▲21
今期業況 天気図					

**今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)**

期間: 令和6年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲10(前期差1ポイント減)と前期とほぼ変わらず、天気図は「曇り」となった。製造業は▲7(前期差12ポイント増)で前期に続き回復が進んだ。小売業・卸売業は▲8(前期差±0ポイント)は前期から変わらず。飲食業・サービス業は▲12(前期差6ポイント減)で、若干の悪化であった。前期の好況だった建設業は▲11(前期差24ポイント減)と、大きくダウンした。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	6	20	▲11	▲4	3
採算	▲13	▲7	▲11	▲12	▲16
仕入単価	▲67	▲80	▲72	▲84	▲52
販売単価	29	33	28	50	20
従業員	31	18	44	32	36
資金繰り	▲6	▲10	6	0	▲7
今期業況(総合判断)	▲10	▲7	▲11	▲8	▲12
今期業況 天気図					

業況天気図凡例				
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下






<<景気観測調査>>  
 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。  
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。






## 次期見通し天気図

### 次期見通し業況天気図

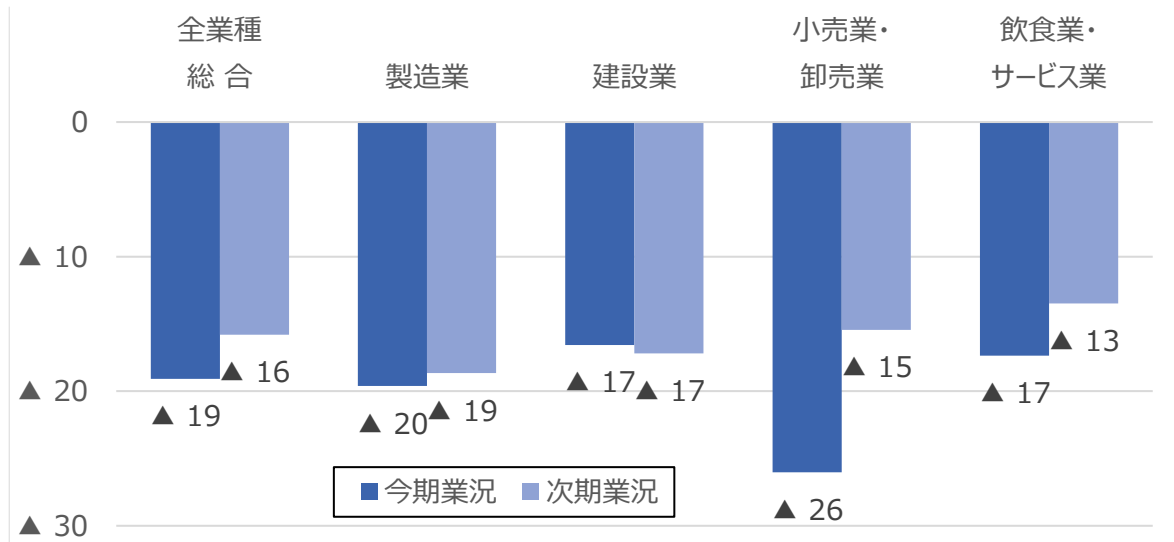
令和6年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲16(今期差3ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。産業別にみると、製造業が▲19(今期差1ポイント増)、建設業は▲17(今期差±0ポイント)、飲食業・サービス業は▲13(今期差4ポイント増)と、今期からほぼ変わらない予想である。小売業・卸売業は▲15(今期差11ポイント増)と回復が見込まれている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲0	0	▲4	▲2	2
採算	▲12	▲11	▲15	▲15	▲11
仕入単価	▲49	▲51	▲59	▲67	▲38
販売単価	12	12	10	24	7
従業員	25	15	40	24	25
資金繰り	▲12	▲13	▲13	▲12	▲11
次期業況 (総合判断)	▲16	▲19	▲17	▲15	▲13
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30~11	 薄曇り DI値 10~▲10	 小雨 DI値 ▲11~▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<<景気観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

### 参考) 今期と次期の業況DI








## 次期見通し業況天気図

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者)






(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)






令和6年10月～12月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)  
 全産業の次期見通しは▲22(今期差2ポイント増)と改善が進み、天気図は「小雨」の見込み。  
 産業別にみると、今期数値が低かった小売業・卸売業は▲23(今期差15ポイント増)と改善が進む見込みである。製造業は▲27(今期差1ポイント増)、建設業は▲17(今期差±0ポイント)、飲食業・サービス業は▲21(今期差±0ポイント)で、今期と同様の予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲4	▲8	▲2	▲5	▲3
採算	▲15	▲19	▲14	▲15	▲12
仕入単価	▲48	▲48	▲58	▲62	▲35
販売単価	7	6	8	18	4
従業員	22	11	40	15	18
資金繰り	▲17	▲20	▲14	▲19	▲16
次期業況(総合判断)	▲22	▲27	▲17	▲23	▲21
次期業況 天気図					

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和6年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)  
 全産業の次期見通しの天気図は、▲5(今期差5ポイント増)で、「曇り」の予測。建設業を除いて「曇り」となる見込みである。産業別にみると、飲食業・サービス業は▲3(今期差9ポイント増)で改善し、小売業・卸売業は▲4(今期差4ポイント増)も景況が上向き見込みである。製造業は▲6(今期差1ポイント増)は今期並みの予想。建設業は▲22(今期差11ポイント減)とDIが減少すると見られている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	7	12	▲17	2	8
採算	▲9	0	▲17	▲16	▲10
仕入単価	▲52	▲55	▲61	▲76	▲41
販売単価	20	22	28	34	13
従業員	32	22	44	36	35
資金繰り	▲3	▲2	▲6	▲2	▲4
次期業況(総合判断)	▲5	▲6	▲22	▲4	▲3
次期業況 天気図					

業況天気図凡例				
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下

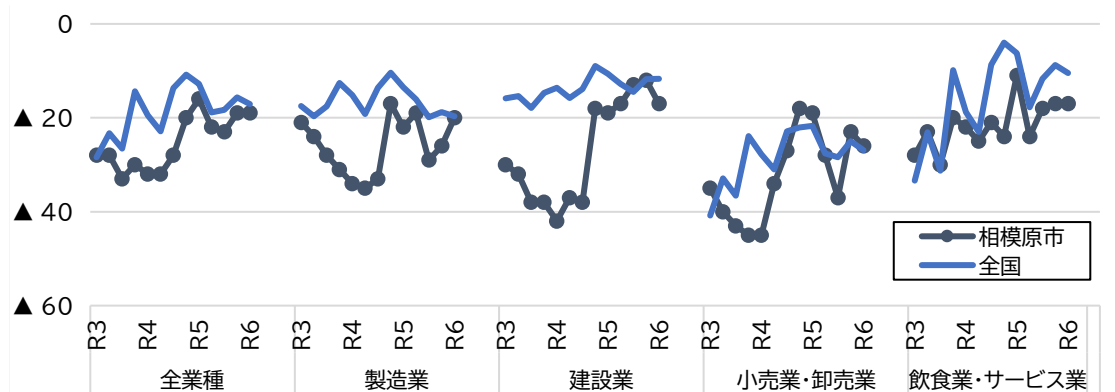
<<景気観測調査>>  
 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。  
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

## 業況DIの推移

### 業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、今期は▲19(前期差±0ポイント)で、変わらなかった。  
 産業別にみると、製造業は▲20とやや改善した。飲食業・サービス業は▲17で前期並みに。  
 建設業は▲17、小売業・卸売業は▲26、と振るわなかった。  
 全国と比較すると建設業と飲食業・サービス業は全国よりも低い水準にとどまっている。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)

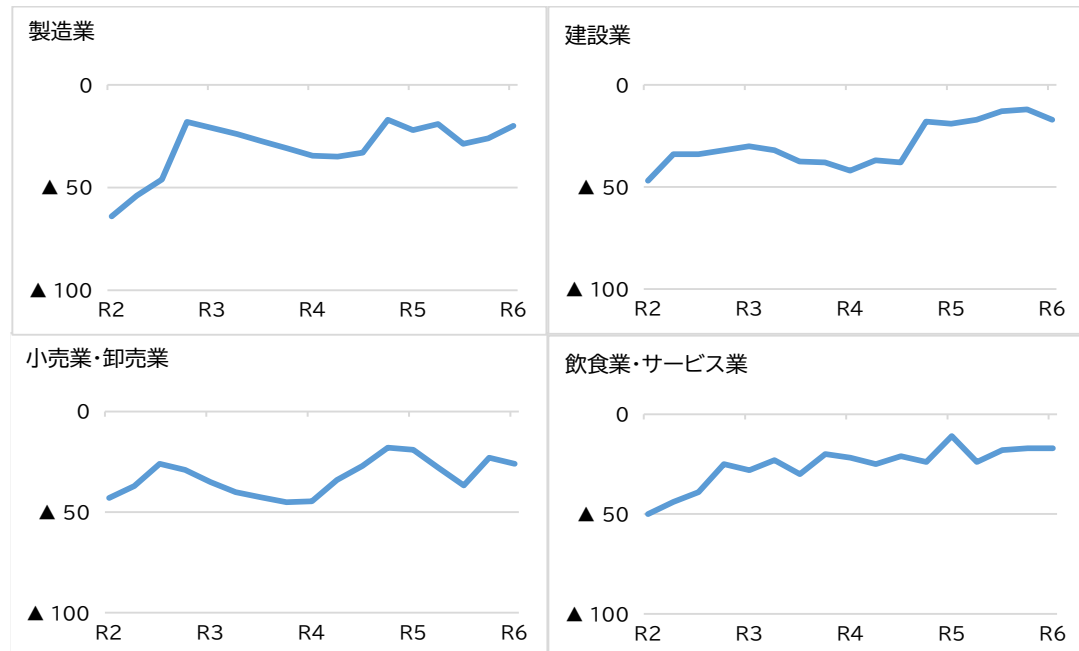


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

### 参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

### 【製造業】

- ・受注は好調であるが、原材料価格、エネルギーコスト上昇により製造原価が上昇【医薬部外品、化粧品、医療機器の製造】
- ・客先の設備投資の延期、中止が出始めてきた。【各種機械・装置の電気設計／ソフトウェア設計および製造、生産管理システム等のソフトウェア設計】
- ・不景気になっている原因が不明。【シャフト・ベアリングケース】
- ・令和6年度前半よりも後半のほうが、景況感が悪くなると感じている。受注先からの内示が減少していく方向性を感じられる。【自動車部品製造業】

### 【建設業】

- ・今は国からの補助金が出ているので受注できている。【サッシ・ガラス・エクステリア工事】
- ・事業主高齢化で体力のおとろえが進み仕事の能力が下がった。従業員1人でも仕事量が少ないので何とかやりくりしているが先が心配。【左官タイル工事請負】
- ・公共工事・民間工事とも受注に大きな増減は感じられないが、各工事原価の上昇が継続しており、現場毎の収益率の低下が止まらない状況。【土木建築の施工】
- ・景気悪い。【内装工事】

### 【小売業・卸売業】

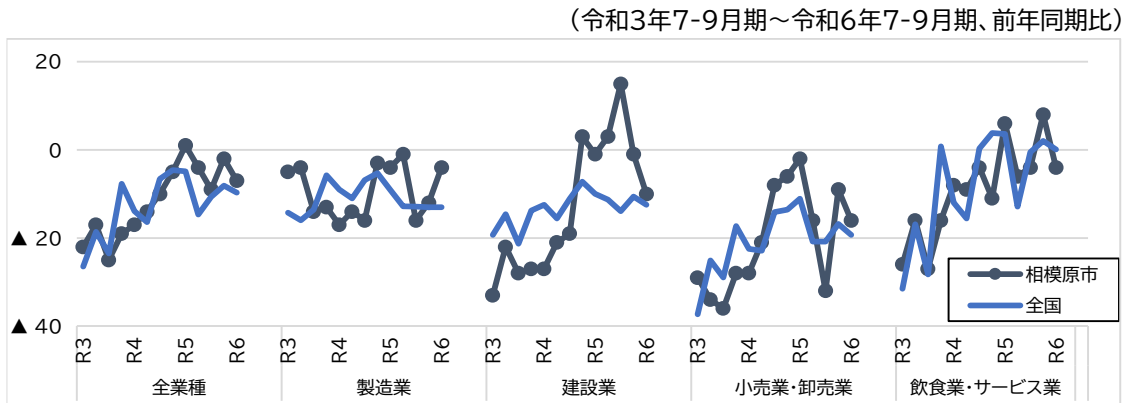
- ・7～9月は業界的に繁忙期であり、売上が増加することは当たり前な感覚でおりますが、材料費、燃料費の上昇による原価高騰が治まらず、収益の部分では特に変わらないか少々減少している。官公庁の発注が少ないことが影響している。【業務用厨房機器及び厨房用品販売】
- ・高額品が売れない。【家電小売】
- ・時給の定期上昇高が高すぎる。【菓子類販売】
- ・買上点数の減少、値上げによる1点単価の上昇。【スーパーマーケット】

### 【飲食業・サービス業】

- ・1人では見切れないぐらい忙しい時がある為、人を雇いたいと感じるようになった。【全体の施術】
- ・全体的に売り上げは少しずつではあるが増加傾向にあります。しかし更なる売上増に対応するためにはヘルパーの増加が第一条件です。登録ヘルパーの時給を上げ、応募に対応していきます。【訪問介護】
- ・入札に関し、考えられない低単価で応札する突飛な業者が存在する。一般入札に制度変更され、今後更にかかる事態が起こることが懸念される。【建物設備管理及び清掃業】
- ・工賃単価が安い、無資格の工場が安く仕事するから客が減る。【自動車整備、板金塗装、車両販売】
- ・建て売り住宅の在庫増。住宅購入層の減少。【賃貸物件管理・仲介・戸建宅地の開発分譲地、企画販売・売買物件の仲介】

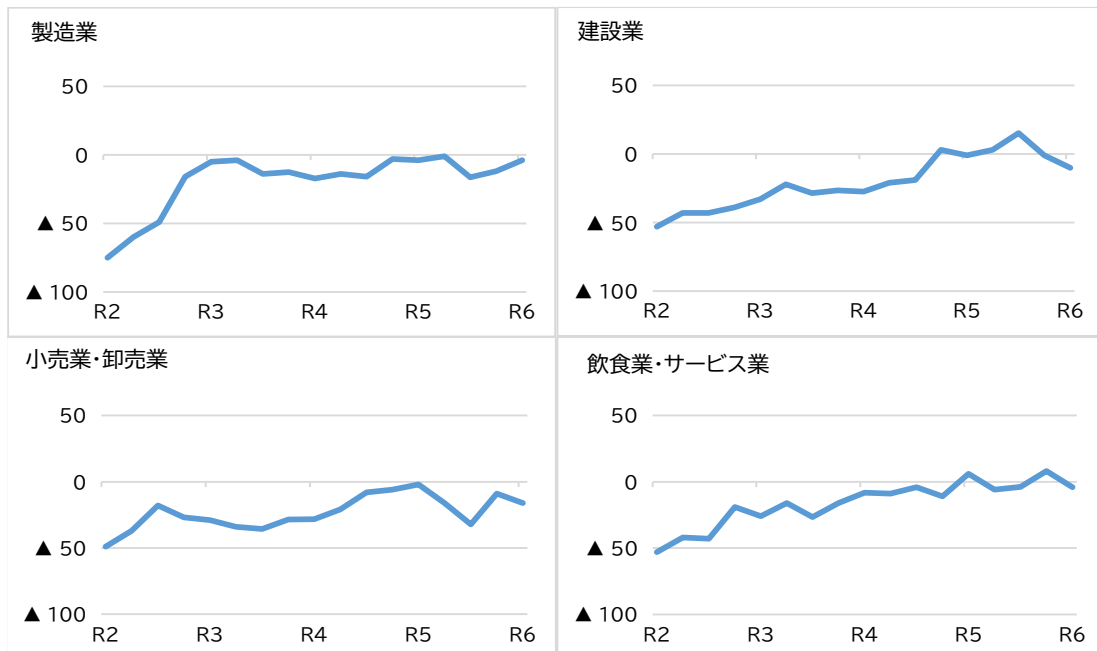
### 売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、▲7(前期差5ポイント減)と、若干の悪化であった。  
 産業別にみると、製造業が▲4となりかなり改善した。建設業は▲10で前期に引き続き大きく低下した。飲食業・サービス業は▲4、小売業・卸売業は▲16で、こちらも前期から大きく低下した。  
 全国と比較すると、製造業がやや当市の方が好調である。



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

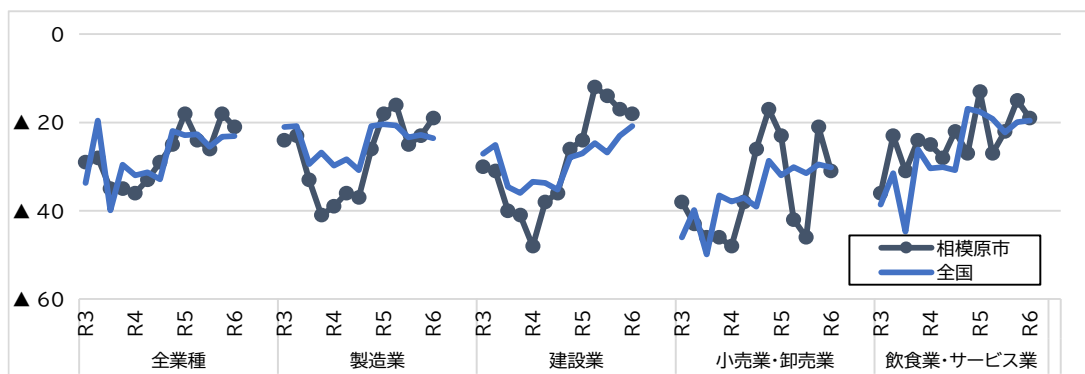
### 参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



### 採算DI(前年同期比)の推移

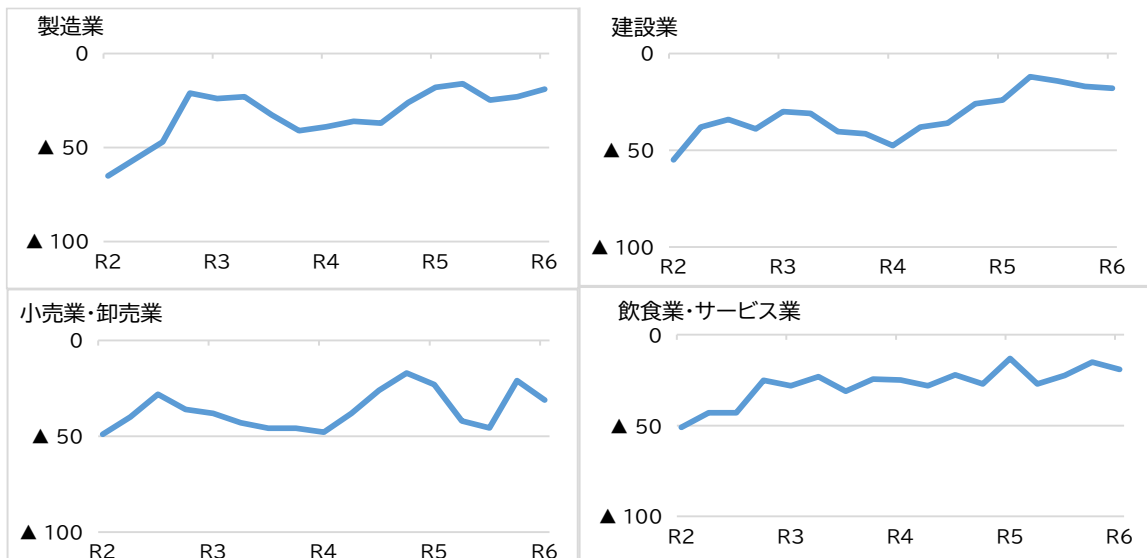
全産業の採算DIは、▲21(前期差3ポイント減)と、若干の低下であった。  
 産業別にみると、売上DIが増加した製造業が▲19とやや改善傾向。建設業は▲18、飲食業・サービス業は▲19で前期並み。小売業・卸売業は▲31と他の業種に比べ低かった。  
 産業別に今期の数値を全国値と比較すると、製造業が全国よりやや高い水準となった。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

### 参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

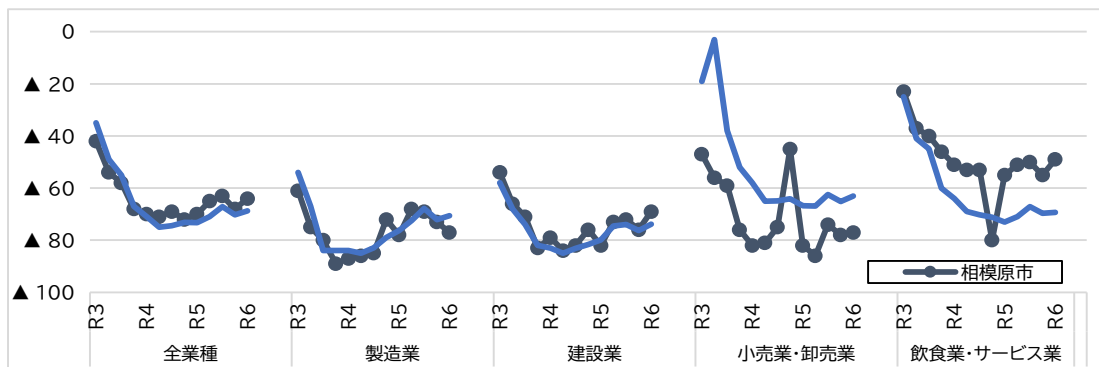




### 仕入単価DI(前年同期比)の推移

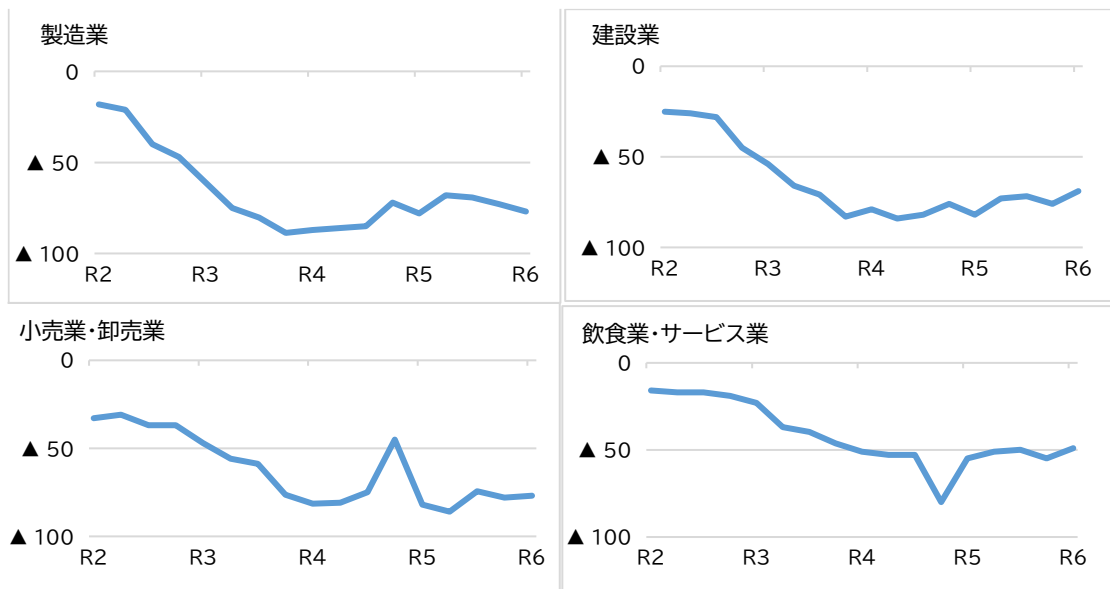
全産業の仕入単価DIは▲64(前期差4ポイント増)で、若干の改善。  
 産業別にみると、飲食業・サービス業が▲49、建設業は▲69、製造業が▲77、小売業・卸売業は▲77といずれも前期並みであった。  
 全国と比較すると、小売業・卸売業は全国より悪く、飲食業・サービス業は状況が良い。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落→上昇、中小企業庁は「上昇→低下」で算出。  
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

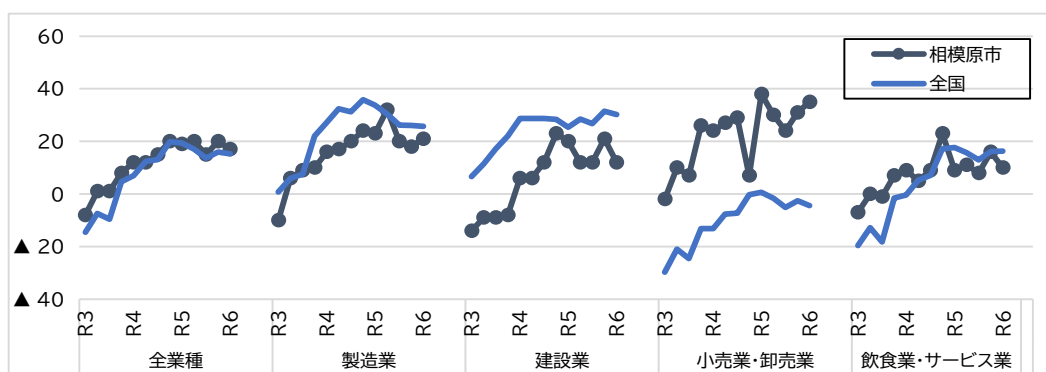
### 参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



### 販売単価DI(前年同期比)の推移

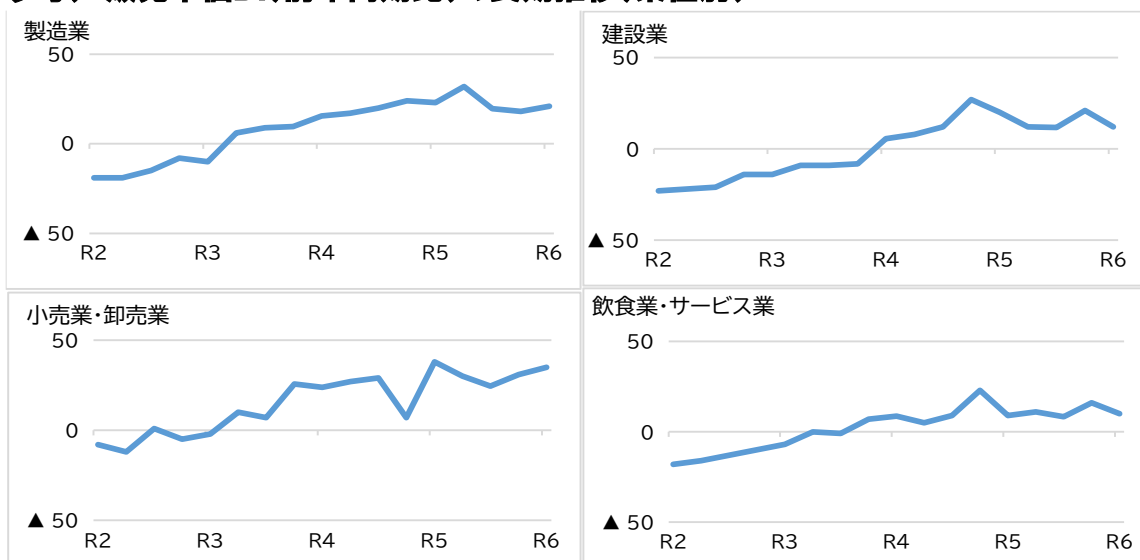
全産業の販売単価DIは、17(前期差3ポイント減)と、若干の低下であった。  
 産業別にみると、小売業・卸売業が35と価格転嫁が進む。製造業は21で前期並みであった。  
 建設業は12、飲食業・サービス業は10で、やや低下している。  
 全国値と比較すると、建設業は全国よりも低い水準が続いている。小売業・卸売業は、全国よりもかなり高い状態が続く。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO／建設業令和6年6月」分類の値を使用

### 参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 従業員DIの推移

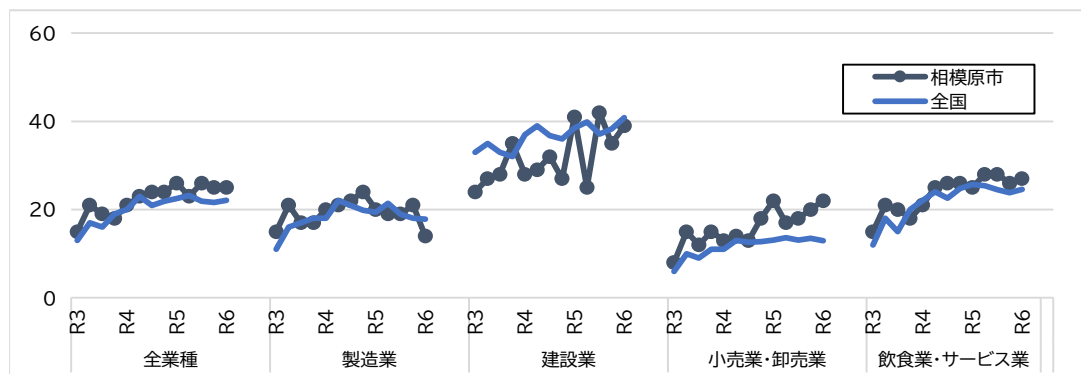
### 従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、25(前期差±0ポイント)で、前期から変化がなかった。

産業別では、人手不足が続く建設業は39、飲食業・サービス業は27、小売業・卸売業が22で、いずれも前期並み。製造業は14で、若干人手不足が緩和されている。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、特に小売業・卸売業で当市の方が、人手不足感が高い。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

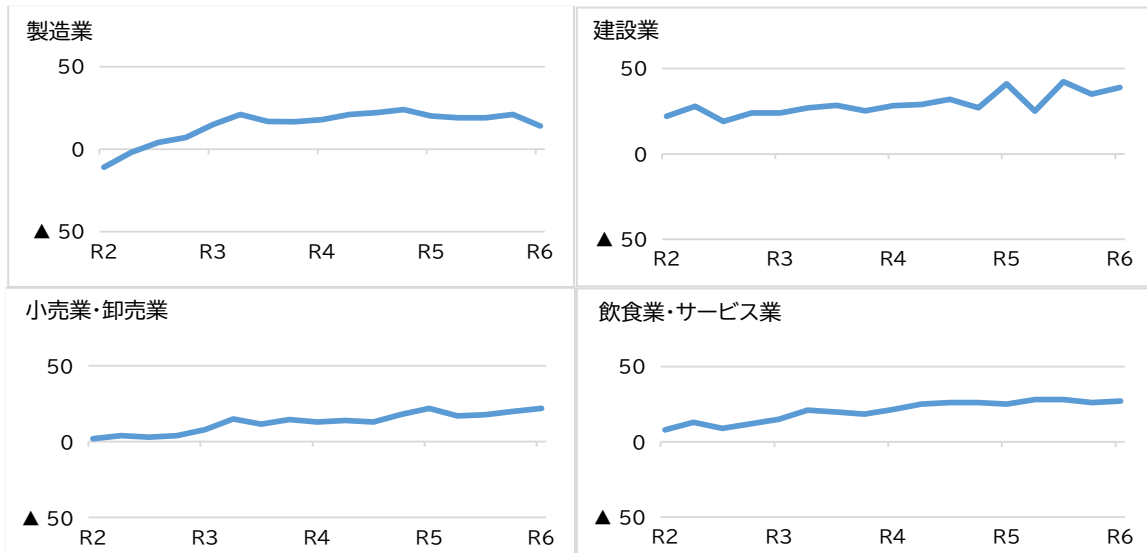
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

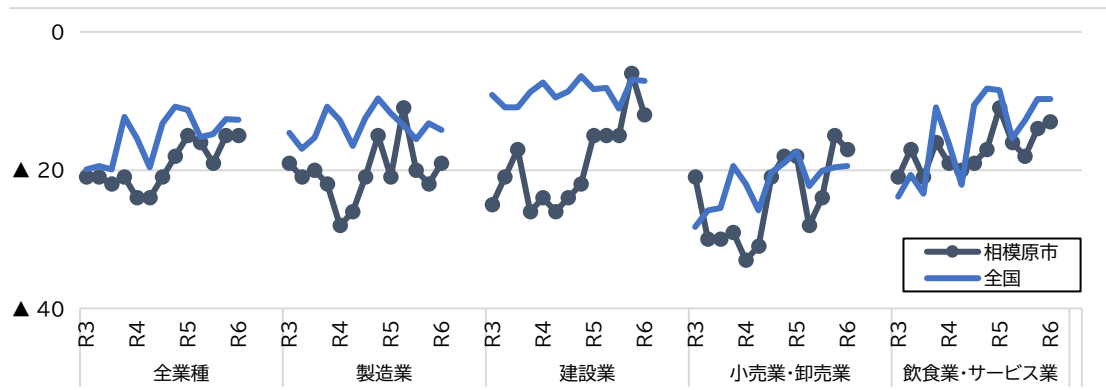
### 参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



**資金繰りDI(前年同期比)の推移**

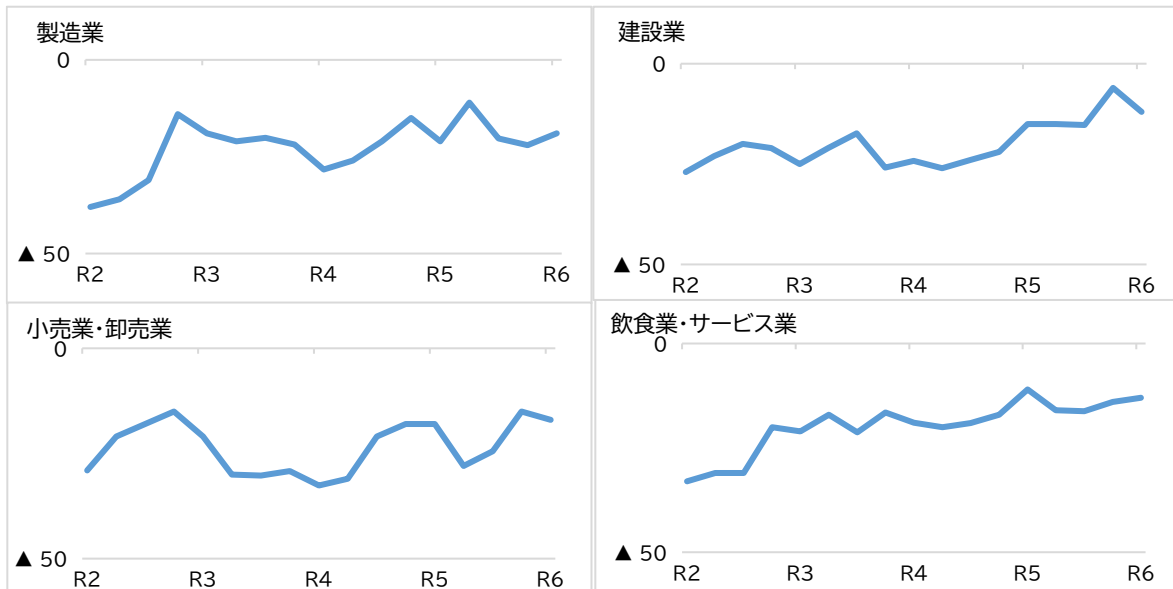
全産業の資金繰りDIは、▲15(前期差±0ポイント)で、前期と変わらなかった。  
 産業別にみると、製造業は▲19でやや改善、飲食業・サービス業は▲13で前期並みだった。  
 売上DIが落ち込んだ建設業は▲12、小売業・卸売業も▲17でやや悪化した。  
 産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業を除いては、当市のほうが全国よりやや悪い状況となっている。

(令和3年7-9月期～令和6年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

**参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)**



集計表(景気観測調査)

			今期(R6.7~R6.9)				次期見通し(R6.10~R6.12)			
			売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	61	79	69	209	53	103	53	209
		構成比	29	38	33	▲4	25	49	25	0
	採算	サンプル数	38	94	77	209	33	119	57	209
		構成比	18	45	37	▲19	16	57	27	▲11
	仕入単価	サンプル数	1	47	161	209	4	95	110	209
		構成比	0	22	77	▲77	2	45	53	▲51
	販売単価	サンプル数	56	141	12	209	39	156	14	209
		構成比	27	67	6	21	19	75	7	12
	従業員	サンプル数	42	155	12	209	43	155	11	209
		構成比	20	74	6	14	21	74	5	15
	資金繰り	サンプル数	12	146	51	209	21	140	48	209
		構成比	6	70	24	▲19	10	67	23	▲13
	業況	サンプル数	32	104	73	209	27	116	66	209
		構成比	15	50	35	▲20	13	56	32	▲19
建設業	売上	サンプル数	40	62	55	157	34	83	40	157
		構成比	25	39	35	▲10	22	53	25	▲4
	採算	サンプル数	20	89	48	157	15	104	38	157
		構成比	13	57	31	▲18	10	66	24	▲15
	仕入単価	サンプル数	2	45	110	157	3	59	95	157
		構成比	1	29	70	▲69	2	38	61	▲59
	販売単価	サンプル数	38	100	19	157	33	107	17	157
		構成比	24	64	12	12	21	68	11	10
	従業員	サンプル数	65	89	3	157	67	86	4	157
		構成比	41	57	2	39	43	55	3	40
	資金繰り	サンプル数	9	120	28	157	8	120	29	157
		構成比	6	76	18	▲12	5	76	18	▲13
	業況	サンプル数	16	99	42	157	15	100	42	157
		構成比	10	63	27	▲17	10	64	27	▲17
小売業・卸売業	売上	サンプル数	29	45	49	123	34	52	37	123
		構成比	24	37	40	▲16	28	42	30	▲2
	採算	サンプル数	18	49	56	123	21	62	40	123
		構成比	15	40	46	▲31	17	50	33	▲15
	仕入単価	サンプル数	3	22	98	123	4	32	87	123
		構成比	2	18	80	▲77	3	26	71	▲67
	販売単価	サンプル数	54	58	11	123	45	63	15	123
		構成比	44	47	9	35	37	51	12	24
	従業員	サンプル数	32	86	5	123	32	88	3	123
		構成比	26	70	4	22	26	72	2	24
	資金繰り	サンプル数	11	80	32	123	11	86	26	123
		構成比	9	65	26	▲17	9	70	21	▲12
	業況	サンプル数	17	57	49	123	18	68	37	123
		構成比	14	46	40	▲26	15	55	30	▲15
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	85	151	98	334	84	173	77	334
		構成比	25	45	29	▲4	25	52	23	2
	採算	サンプル数	45	180	109	334	52	194	88	334
		構成比	13	54	33	▲19	16	58	26	▲11
	仕入単価	サンプル数	2	165	167	334	5	198	131	334
		構成比	1	49	50	▲49	1	59	39	▲38
	販売単価	サンプル数	61	244	29	334	50	259	25	334
		構成比	18	73	9	10	15	78	7	7
	従業員	サンプル数	95	234	5	334	90	239	5	334
		構成比	28	70	1	27	27	72	1	25
	資金繰り	サンプル数	20	250	64	334	23	252	59	334
		構成比	6	75	19	▲13	7	75	18	▲11
	業況	サンプル数	42	192	100	334	42	205	87	334
		構成比	13	57	30	▲17	13	61	26	▲13
全業種総合	売上	サンプル数	215	337	271	823	205	411	207	823
		構成比	26	41	33	▲7	25	50	25	▲0
	採算	サンプル数	121	412	290	823	121	479	223	823
		構成比	15	50	35	▲21	15	58	27	▲12
	仕入単価	サンプル数	8	279	536	823	16	384	423	823
		構成比	1	34	65	▲64	2	47	51	▲49
	販売単価	サンプル数	209	543	71	823	167	585	71	823
		構成比	25	66	9	17	20	71	9	12
	従業員	サンプル数	234	564	25	823	232	568	23	823
		構成比	28	69	3	25	28	69	3	25
	資金繰り	サンプル数	52	596	175	823	63	598	162	823
		構成比	6	72	21	▲15	8	73	20	▲12
	業況	サンプル数	107	452	264	823	102	489	232	823
		構成比	13	55	32	▲19	12	59	28	▲16

## 集計表(トピックス)

製造業
5月くらいから受注が減少しました、客先の業種も様々ですが全体的に減少しました。【自動制御盤製作、機械付帯配線、一般電気工事】
ここ2～3年の傾向で円安の影響と製品輸入価格の上昇で仕入コストが上昇している。営業努力で新規販売先の発掘や既存の代理店の掘り起こしで売上増を図っているが収益率は低下している。【空圧制御バルブおよび関連品の製造販売】
コロナの影響が徐々に改善されイベント多くなり、6月～7月頃から多くなってきた。これから期待したい。【不織布製品の企画製品販売、イベント用はっぴ、オーガンジー巾着、不織布バッグ、その他】
引合い案件はあるが受注まで時間がかかる。【各種計測器・検査機梱包業】
営業部門の新卒採用が困難である。【臨床検査薬の開発、製造販売】
円安。【食品】
円安から円高に振れてきているが、動向を注視する必要あり、また仕入価格の上昇は円高に振れてもしばらく続くので、収益率に影響が出る。【アルミ手摺製造業】
円安の影響。【精密板金加工】
円安基調からの脱却をして欲しい。【電子応用装置設計・防犯設備機器の販売】
価格交渉の不調、労務費上昇の転嫁が不調。【ネジの製造販売】
価格単価の減少。物価上昇にて財布の紐が硬い。【畳、畳雑貨】
海外のアフターマーケット向けの受注が戻りつつある。【マグネチックバルブ・グロープラグ】
株価・為替の変動。【電力機器、配電機器、免振・制振・制音デバイス、精密デバイス】
客先の設備投資の延期、中止がはじめてきた。【①各種機械・装置の電気設計/ソフトウェア設計および製造、②生産管理システム等のソフトウェア設計】
受注は好調であるが、原材料価格、エネルギーコスト上昇により製造原価が上昇。【医薬部外品、化粧品、医療機器の製造】
客先より発注数の減少を伝えられたが、現在まで前年比50%減だった。今後はさらに悪化し80%減の予測と伝えられている。単独の経営は限界と判断しM&Aを行った。現在の(8月より)経営権は親会社に委譲している、今後は親会社の意向に沿い運営を行う。期待をしたい。【半導体関連製造装置の部品加工・金型設計製作・機械部品加工】
業界は小さくなり、収益を上げる様努力します。【プラスチック押出成形に使用する、引取機、切断機の製造修理】
景気低迷、円安の影響、税制改革による増税、資金繰り悪化、設備の老朽化によるメンテナンス費用の増額、等にて事業継続が今後困難となる見込み。【光学ガラス受託加工業】
景況感が悪い。【製缶板金】
継続的な賃金の上昇を担保できない。【段ボール箱の製造販売】
原材料の仕入れ値、従業員の賃金上昇への対応で頭が痛い。【電池部品】
原材料の値上げ・人件費上昇・水道光熱費等の費用を商品代に転嫁でき切れないこと。【ヘアゴム・紐・化粧品雑貨の製造販売】
減税・インボイス等、経理事務の仕事が細かくなりかえって多忙、複雑な感じがする。【工業製品塗装】
現在、一人で運営中、やることが多く、人手が欲しいが現在の売り上げだと雇うことができない。【水中ドローン開発設計】
現場の高齢化。【自動化省人化設備の制御設計、制御盤製作】
顧客全般にて生産ロット数量の減少による売り上げ不振、価格改定申し入れによって転注される恐れまたは転注となった案件あり。【銅合金素材による上水道継手、産業用機器継手、自動車部品などの旋盤加工】
仕入れ価格の上昇予測が難しい。【生コンクリート製造・販売】
仕入れ価格及び諸経費上昇に伴い、販売価格を上昇させたところ、以前よりの受注が減少した。また、設備の老朽化を改善したいが、売上高及び利益とも思うように上がらず、設備投資を躊躇している【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
仕入単価が上昇し利益率の低下、販売先も設備の購入に慎重。諸経費が膨らみ昇給なども大変厳しい。社会保険料の負担が特に賞与の月は経営を圧迫。【抵抗溶接機製造・販売】
仕入単価の上昇。【小型多機能ロボットの開発・製造販売】
資材の高騰、人手不足、従業員の高齢化。【産業用途向け通信機器の開発・製造・販売】
自動化のニーズの高まり、ロボット化。【抵抗溶接機】
自動車関係の不振。【切削工具製造及び再研磨】

車の部品トレーを多く生産しているが、トヨタの不正問題の頃より注文キャンセルが続いている。【プラスチック加工】
若い人の応募が少ない。【電子機器の製造業】
若年層の雇用が難しい。【プラスチック再生ペレット製造機械販売】
受注が全くなく、経費ばかりかかる。大手の動きが遅い。【省力機製作】
不景気になっている原因が不明。【シャフト・ベアリングケース】
受注は増えているが、資金にゆとりが出るほどではない。【工業用試作モデル、検査治具の設計、製造】
受注激減のため従業員の手が余り、やむを得ず休業する日が出ている状況が1年あまり続いている。【電気機械器具製造、ワイヤーハーネス】
受注数の減少。【ウレタン加工】
受注先へ価格転嫁要求して受け入れられても、それ以上に価格協力のお願が多く利益率が良くない、受注量は多少多くなり、設備投資の動きが出ているよう。【工作機械の部分品製作・精密板金加工】
受注量が激減している。決まった一部の得意先に頼り過ぎている。【段ボール製函紙器一式、包装資材、段ボール家具販売】
受注量の減少。諸経費の増加。【金属熱処理】
受発注の状況。【印刷】
従業員の高齢化にともない生産能力の低下懸念。【電子回路設計・製造】
重機及びトラック向け用大型部品が減少し、軽自動車向け小型部品の増加で採算悪化。【自動車用オイル、燃料フィルター部品】
春から夏にかけて受注量が増加してきました。ただ、今後はまだまだ不透明ですので、柔軟に対応していかなければと感じております。【精密機械加工業／各種試作品など】
将来の受注状況が見通せない。ソフトウェア設計者、回度設計者の人材確保が困難な状況。【インサーキットテスト/インサーキットテストフィクスチャ/ファンクションテスト開発、製造、販売】
新規事業が軌道にのりはじめた。【発泡スチロール加工】
人件費の上昇が価格に転嫁できない、パートを募集しても集まらない。パートが集まらないが時給を今以上に上げることができない。【健康食品及び一般食品の製造業】
人件費高騰。【アウトソーシング事業(派遣、請負)】
人口が80万人減り今後は人口減少と共に市場が縮小するだろう。【組紐、ヘアゴム、化粧品小物】
生産品に紐づく開発案件の減少と、そもそも開発案件問い合わせ数自体が減少している。【電気製品の受託開発及び少量生産】
設備投資、自動車の問題。【機械加工、軸受製造】
設備投資において、県や国の補助金制度が不十分である。【半導体製造装置、測定装置等の板金加工】
前期に比べて、受注は伸びていますが、部品の仕入れ単価が相変わらず上昇傾向にあり、製品によっては、値上がり分の製品転嫁をしきれていないものも有り、今後改善していく。【電鉄用変電所の計測装置】
全体的な受注は良くないが、工事がスポット的に増えている取引先もある。【工業塗装】
全体的に元気が無いように感じます。暑さもさることながら物価高が止まらずエネルギー等の価格も上昇し加えて自然災害への不安など。まだまだマイナス要因の方が多いと感じます。【段ボール製品の製造販売、梱包資材の販売】
相変わらず悪い。先行きが見えない。【電子回路基板製造】
損益分岐点売上高の上昇で収益率が低下している。【一般産業用機械製造・組立】
超円安が金利上昇で5年前ぐらいのレートに戻る事を期待している。【通信機、オーディオ、カラオケの設計、生産(委託)、販売】
賃上げや金利の上昇などで収益やキャッシュフローが思ったよりよくないので、生産性向上策を模索している。【各種製品の加工、検査及び包装】
当社のビジネスモデルは受注と売上のタイミングがずれてしまう為、売り上げに関してはコロナ禍の影響がここにきて出てきており厳しい状態になっています。ただし、現在は受注も増えてきており10月以降の売上も見えてきており、工場も来年の夏までのスケジュールが見えております。【食品工場の食品製造装置の自動化・省力化機器の製造・販売】
得意先への単価について話しがしにくい？【製造業】
売上が減少して収益が落ちているのに賃金は上げなくてはならない。【精密部品加工】
売上減少。【金属製品塗装】
半導体製造装置の受注がまだ好転していない。【金属加工業】

販売価格に原材料値上・労務費を転嫁できない。【組紐・化粧雑貨】
令和6年度前半よりも後半のほうが、景況感が悪くなると感じている。受注先からの内示が減少していく方向性が感じられる。【自動車部品製造業】
不景気にはいったなあ…。【省力化機器の設計製造】
部材、加工費の高騰。部材、加工の納期長。【工業用自動機の開発・製造・販売】
売り上げ不振、従業員不足。【スティックシュガー、健康食品】
物価は上昇、仕事は減少。【鉄工業】
物価高、社員給料昇給によりさらに資金繰り悪化。【ねじ・ボルト(車輛用)】
補助金の減少による国内の設備投資の低迷。【工作機械用板金部品製造、半導体製造装置用板金部品製造】
募集しても本来のエンジニア技術者がいない。【自動制御盤半導体制御盤真空蒸着制御盤】
法律改定で、添付文書の電子化に伴う大口の収益安定化商材の損失に加え、対応点数はあまり変わらないが、低価格商材の増加と原材料・燃料費の高騰で、社員の給与を上げることができない状態。業態変革を試みているが成果につながるまでに時間がかかるので、経営的に非常に厳しく感じている。【商業印刷、出版印刷、ノベルティ、ディスプレイ、WEB製作等】

<b>建設業</b>
2024年問題や労務不足が深刻な状況でかつ夏の異常気象で気温が非常に高い為、労務不足に拍車がかかっています。その為、仕入れ単価は上昇し続けているのですが、販売単価が追いつくのにタイムラグが生じて、利益率は減少しています。民間工事は直前のタイミングでしか状況がわからず、事業計画が金額合わなく消えてしまう状況も最近では増えています。受注計画を立てる様に努力していますが、わからない事が多く、また不安定で困っています。【鉄筋工事業】
お客様対応の経費が掛かる(お客のニーズ、クレーム等)。【建設業】
燃料費の高騰。【建物解体工事】
案件数、一件あたりの単価の減少、材料等の高騰。【内装リフォーム】
運動賃金が足りない→人材採用に消極的になる。【看板】
円安、賃金の上昇で継続して値上がりしている。夏までの工事が多めで、秋の工事が減少見込み。【クリーンルーム、居宅介護支援】
業界に蔓延る外国人業者を排除しないと、まともな業者から潰れていく。【解体業】
極度の人手不足、若手の応募がなかなかない。【電気工事業】
景気悪い。【内装工事】
景気安定。【通信機器・販売・設置・保守業務】
景気低迷で人材不足。【総合解体、産業廃棄物収集運搬】
継続的に正社員を募集しているが、1年に1名の採用にも至らない。【ポンプ、送風機のメンテナンス】
見積はあるが、人手不足により、受注ができない。【建設設備】
原材料の値上げ。【重軽量鉄骨加工、建築金物製造取り付け】
公共工事・民間工事とも受注に大きな増減は感じられないが、各工事原価の上昇が継続しており、現場毎の収益率の低下が止まらない状況。【土木建築の施工】
今は国からの補助金が出ているので受注できている。【サッシ・ガラス・エクステリア工事】
今後の安定した受注計画の策定。取引先の拡大。【建築設計業務】
材料や燃料費等の値上がりで収益を圧迫、大手ハウスメーカーからの下請けの仕事が売上のほとんどを占めているが、発注単価が材料費や人件費の上がりにより相当の乖離があり、収益を圧迫している。【外構工事、造成工事】
材料費・人件費・外注費の上昇による利益率の低下。またインボイスや適格請求の対応により事務作業の効率悪化・コストアップ。【看板製作・設置】
仕事量の減少、経費の増加。【内装仕上げ工事】
仕入単価の上昇。【建設業】
仕入単価の上昇、職人不足。【エクステリア施工販売】
資材の高騰に困っている。【住宅基礎工事】
資材単価、労務費単価の高騰が継続しており、顧客との価格折衝に苦慮している。【総合建設業およびこれに関連する業務】



事業主高齢化で体力のおとろえが進み仕事の能力が下がった。従業員1人でも仕事量が少ないので何とかやりくりしているが先が心配。【左官タイル工事請負】
若年労働者の不足。【造園工事、緑地管理】
受注する工事金額は多少上がっているが仕入単価の高騰に追いついていないので対応が必要。【電気工事業】
受注の先行きが見えない。従業員が不足しているため、受注数を絞らないといけない状況。【建設設備(管工事)】
人員の確保ができていない。【測量・大工工事業】
人員確保の難しさ。【電気工事業】
人材不足。【土木一般工事】
人材不足・材料の高騰・単価の伸び悩み。【設備工事、管工事業】
人材不足、高齢化。【建設業】
人手不足。【住宅リフォーム、LPG販売】
人手不足。【工場・事務所・倉庫、アパート・住宅・リフォームなど】
世間的な不景気、人員や人材不足、若年層職人の減少。【屋根、雨樋、外壁の新築、リフォーム、補修】
先行きが見えない状況で有る。【電気工事業】
全体的に減少傾向にある。【防蟻工事】
定期入替を受注しましたが、続くことを願っています。【外食産業の店舗厨房機器に関する入替・メンテナンスなど】
働き方改革における工期の延長(受注機会の間延び)。【金属製建具施工販売】
働き方改革による環境変化の影響が顕著。【一般建築業、主に大工工事請負】"
売上はあがるが利益率が下がってしまう傾向がある。年齢的にも休まず働けるのが、あと数年だろうし抜本的な改革を再度、していかなざるをえないです。【木製建具、家具】
物価上昇、ガソリン等の上昇。【造園業】

<b>小売業・卸売業</b>
7～9月は業界的に繁忙期であり、売上が増加することは当たり前な感覚でおりますが、材料費、燃料費の上昇による原価高騰が治まらず、収益の部分では特に変わらないが少々減少している。官公庁の発注が少ないことが影響している。【業務用厨房機器及び厨房用品販売】
インバウンドが増加傾向のようなので、ターゲットとして考えている。【寝具】
インフレ防衛や酷暑の影響で、来店客数の減少および客単価の低下が見られる。【特産品販売】
コロナ禍が明け消費が戻りその良い影響を受けてはいるが、当事業においては仕入価格高騰・不足であり供給できないケースある。【精米販売】
はんこの使用が減った、問屋も来なくなった、郵送になった、マイナスのスパイラルになって来た。【はんこ、印刷】
まだ2期目のため分からない。【日用品、小型家電、衣料等】
為替レートの変動による仕入単価の変化。【電子部品及び電子応用機器の輸入販売。機構・電気設計・開発業務】
円安。【輸入自動車販売、部品販売及び取付け】
円安、異常気象などの影響に加え、2024年問題での物流コスト増などもあり、これまで以上に収益面で厳しい状況です。【衣料品、住まいの品、食品の販売】
介護制度による利益の減少。人手不足。【福祉用具貸与販売、訪問介護、介護タクシー】
介護保険制度の問題による収益の低下、人手不足。【福祉用具貸与販売、訪問介護、介護タクシー】
各商品の製造や設備に係るランニングコストの増加分が、なかなか商品に転嫁しづらくて利益率の低下が続いている。【食肉製品全般】
環境規制の厳格化と技術革新の波により、エンジン関連やトランスミッション部品がなくなり販路減少となることへの自社対策等。【卸売業】
競合していた商品が販売中止、弊社に商権が移動、売上増加した。【鋳造副資材卸売、誘導灯熱処理炉メンテナンス、ショートプラスト装置メンテナンス】
景気が悪すぎる。売上予測も減収減益の予定しか建てられない。【釣り具販売】"
景気はかなり持ち直していると思われる。【健康食品】

景気感:良好。コロナ禍による影響の一つとして、取引をしている中小企業・大企業のスピード感が大きく減速しているように感じています。【省庁向資材・機材・消耗品の企画開発・販売、インターネットショッピングモール内店舗運営】
原材料米の高騰が、収益にマイナス影響があります。本年度新米収量が平年並みになって、流通価格が落ち着くことを願います。【米菓製造販売】
現在の営業の仕方が時代のニーズに合わないのかも知れない。かといって新規の顧客を開拓する手段も無い状況。今現在の代理店がいる限りは何とか存続しようと思っているが将来的には見通しは暗い。【光、空気触発製品の販売】
個人消費の冷え込み。【住宅設備機器、卸売業】
個人消費低迷、仕入・諸経費高騰。【ミシン刺繍商品】
雇用に関して最低賃金は上昇するが、いわゆる"103万円の壁"の扶養控除枠、金額も上昇しないと、勤務日数減となり、人員の不足につながっている。【日用品、生活用品、工具、資材、園芸、ペット用品】
高額品が売れない。【家電小売】
昨年に比べるとお客様の購買意欲が増えているように感じる。【車販売】
仕入の上昇が止まらない。【菓子製造と販売】
仕入原材料の高騰。【介護用食品の開発&販売】
仕入先が相手で値上げを通過してくるのみ協議はない。【靴】
仕入値、原材料、工事費、人件費などの価格上昇による、各種への影響。【自動車販売業】
時給の定期上昇高が高すぎる。【菓子類販売】
実質賃金はマイナスが続き、個人消費の回復も見えず厳しい状況が続く。【地方卸売市場(青果)の運営】
若年層社長への教育。【伝動機器商社】
終業時を考えながら準備等しています。【作業用品卸売】
従業員不足。【生花の委託販売】
諸々仕入れ単価の上昇。【電化商品の販売修理】
諸物価高騰の影響で消費者の生活防衛意識が高く購買意欲が低下している。【メガネ・コンタクトレンズ・補聴器の販売】
新規顧客の獲得が競合他社、都市ガス事業者との競合で難しくなっている。温暖化の影響でガス消費量が大幅に低下。当然として売上が伸びない。【家庭用・業務用LPガス販売、生活関連機器販売】
新分野準備中。【健康支援商材販売、カウンセリング】
先行不安。【建設材料販売】
送料の高騰。【文具・事務用品小売】
大型受注がありますが、収益的には増加ですが、中国からの仕入れの為、前払い金の増改より、資金繰り厳しい状況です。後、新事業として、取り組んでいる車椅子ロボットの反響が大きく、テレビ各社で取り上げていただいておりますが、開発資金と開発要員が少ないことで、製品化が遅れ気味で、資金提供のエンジェルが現れることを期待しています。【受託製品の卸売業、ロボット開発製造業】
通常の生花店から、アートフラワーアレンジメント等、独自の装花を手掛けていきたい。【生花店】
買上点数の減少、値上げによる1点単価の上昇。【スーパーマーケット】
売り上げ低迷し業績が下がる状態が続くと、仕入れに対する取引条件も悪化し、負のスパイラル落ちていくと感じる。工場がものづくりをする上で必要となるモノを仕入れて販売したり、そのために工場に訪問して注文をとりについたり、お客さんの仕事が楽になるより良い商品を探して提案しています。【良く売るモノ:工具、部品、機械】
売上不振が続いている。宅配客の高齢化。【乳製品の宅配、バナジウム天然水の宅配等】
半導体の影響で物づくりができず受注に大きな悪影響を及ぼす。【卸売業】
販売競争が厳しくなるのでは。【家電品販売、電気工事】
不採算部門の縮小。【液化石油ガス販売】
物価高の影響による個人消費の低下に伴い、ECの大幅な売上減少が続いている。包装資材、外注費等の値上がりもあり、厳しい経営状況である。【健康食品の販売とりあつかい、商品/玉葱皮茶など】
物価上昇について行くのが困難、給与上げても、生活がきつい。税も上がっているのに、売り上げ、利益が増えても、給与を十分に上げられない。【家電、住宅設備機器販売、工事】

飲食業・サービス業
小規模事業者における販売網の減少。【ITコンサルティング、業務改善コンサルティング】
自治体での研修を続けていくためにも、少しでも講師料の高い企業での講演・研修を増やしたい。【企業や自治体などでの研修、①「江戸の知恵を今に活かす」講演、「江戸の知恵を現代の経営に活かす」講演、②「メンタルヘルスのための予防心理学～エニアグラム研修」、「仕事や暮らしに役立つコミュニケーション研修」】
1人では見切れないぐらい忙しい時がある為人を雇いたいと感じるようになった。【全体の施術】
2024年問題が言われて久しいが荷主側で運賃の上昇を認めないケースが多い。中小ではなく大手メーカーでの認識は明らかに不足している。【自動車部品】
60歳以上の男性のサイフのひもがかたいと感じることが多くなった。【一般理美容】
7月より販売価格を改訂(値上)、その分以上に仕入価格が上昇中。【ラーメン店】
DXの推進、人材の採用および育成。【経理・人事業務のシェアサービス】
お客様の搬入状況が悪い。産業廃棄物の全体量が減っている。【産業廃棄物処理業(焼却)】
コロナ以降人が集まらない。若い人材が不足。【酒、料理】
コロナ検体輸送が非常に増えた。軽貨物の代金回収が厳しい状況。【駐車場清掃管理、軽貨物運送】
サイバーセキュリティ事故の増加に伴い、IT管理のニーズが高まっているので、仕事は増える見込みですが、サービス提供に必要な人材の確保が課題になります。【IT資産管理業務の改善支援サービス】
ホテルの需要については近郊の製造業、建設各社の好況、不況に左右されやすい。現在は好調であるが先行きについては景気動向に注視。【ホテル客室販売、朝食販売】
メイン荷主の生産調整での金曜日稼働中止が響いている。【部品・一般雑貨】
異常気象により、思うように出店ができない。(大雨が急に降ったり、猛暑だったり)水や、お米が売り切れになる買占めなど仕入れが安定せず不安。【コーヒーの移動販売】
円安での仕入れ値経費増大の悩み。【自動車板金塗装業、自動車整備、自動車販売】
円安による海外渡航の減少。原価増。【旅行業】
円安による材料費の高騰、及び、金利の上昇不安により、新築建売の購入者が減少を続けている。ターゲットをシニア層の中古マンション購入希望者に変更。【不動産仲介】
円高の影響に於ける原材料費の高騰、ガソリン価格の高止まり、業務提携先の減少【墓石清掃・墓石クリーニング・墓石コーティング・墓石メンテナンス・石造物特殊清掃・埋葬業務、他】
欧州車の新車輸入が滞っている。国内の新車も納期が滞っている。【カーコーティング、鍍金塗装、カーフィルム】
価格高に伴うコスト高騰に、左右されないように、社内の収益構造の改善。【自動車部品の物流代行、DM配送】
気温上昇による現場作業環境の悪化。【廃棄物のリサイクル】
気候の影響。【生活関連サービス業】
求人の困難さ。【税理士】
求人を出す、なかなか当社にマッチした人材に出会うことができず、従業員不足が続いている。なかなか販売価格を上げられない中、最低賃金の上昇、物価高騰による影響は大きい。【放送】
給料の賃上げをしました所相手先から残業がなくなり逆に減少しております。【運輸業・倉庫業・梱包業】
協力業者様への支払い額(外注費)が増える傾向があるなかで、仕入れ額が増える見込みが薄い。【一般貨物運送事業】
業務遂行上必要部材の高騰及び毎年の値上げ。【高压洗浄作業】
金利を上げるタイミングではない。設計単価が上がらない。【専門・技術サービス業】
景気、物価高、賃金値上がり。【賃貸管理、仲介】
景気などの影響は特に感じていない。【企業向け教育・講師、プロダクトデザイン、ドキュメントデザイン、各種ファシリテーター】
景気回復を感じて来た矢先の円高・株下落で現時点では先行き不透明。為替やマーケットの変動は外的要因が主であり実体経済に問題があるとは考えていない。【障害福祉サービス、請負作業、印刷】
経費の増加、事業拡大の為の従業員不足。【スポーツ興行】
建て売り住宅の在庫増。住宅購入層の減少。【賃貸物件管理・仲介、戸建宅地の開発分譲地、企画販売、売買物件の仲介】
原材料価格高騰の長期化。【中小企業金融】
現場関係技術職人が不足【マンション管理業】

現場作業員の高齢化が進み、作業効率が低下。社員教育に十分時間をかけることができておらず、将来の幹部の育成に不安を感じている。【ビルメンテナンス】
個客の減少、業者からの仕事が一気に減少した。【自動車板金、塗装】
雇用状況。【一般貨物運送事業】
顧客の発注減。【機械設計】
顧問先で不調なところが少し増えた。【会計事務所】
光熱費、原材料費の増加、その為利益が減少、更に人手不足により、現状に支障が出ています。【自動車整備業】
光熱費の状況、食品の値上げが顕著で収益が下がっている。【保育業務】
光熱費及び仕入れ食材の高騰で、先行き不安。【居酒屋経営】
工賃単価が安い、無資格の工場が安く仕事するから客が減る。【自動車整備、板金塗装、車両販売】
酷暑の中、来店される事なし。【美容業】
今後の点数改正はマイナス改定が予想される。【在宅医療及び外来診療】
最低賃金の急上昇により労務費が増え、収益率が下がることが予想されます。【マンション管理員・清掃員業務受託】
最低賃金の上昇による人件費の変動、勤務時間のコントロール。【お好み焼き、もんじゃ焼き、鉄板焼店舗運営】
採算はやや向上させたものの、電気代、材料費、部品費の高騰で、経営を圧迫している。【マンション、駐車場、賃貸業】
採用難深刻化(中途採用)。【レンタカー・カーリース事業】
仕入価格、経費増加への対応で販売価格アップを検討中。【居酒屋】
仕入金額の高騰。【不動産賃貸】
仕入単価が全て上昇(光熱費等)しているが、今までと変えずに、提供する事が大変。【飲食業】
仕入単価の上昇。【飲食店】
事務職員の採用と受け入れ態勢について。【グループ会社各社の事務委託業務】
実体のない無形財産に企業がなかなか予算を立てられない。【グラフィックデザイン全般】
若年層の人財不足。【産業廃棄物処分量】
取引先の業績悪化が増えている。【保険代理店】
受注が低下する見込。【消防施設保守点検、工事】
受注案件が減ってきている。【コンサルタント業】
受注減少。【検査、梱包】
受注先の業種に不況業種が見受けられる。【ビルメンテナンス業】
受注率の低下。【建設業DXサービス】
秋に控えた最賃改正が@50円/時となる見込みで更に収益性が落ち込む。【清掃・警備・設備保守】
消費者の節約志向。【冠婚葬祭、介護】
消費者購入マインドが冷え込みすぎて動いてないため市内販売不動産も在庫がはげない。その為資金繰りが悪化してきている業者が増えた。【不動産買取再販・仲介・管理】
人員不足、物価高騰による経費上昇。【廃棄物処理業、建物清掃業、工業薬品販売業】
人件費の高騰。【宿泊業】
人件費の増加。【カギ交換、取付け、販売】
人件費や光熱費も上昇を余儀なくされるが、各種システムやセキュリティ対策などへの経費も増加している。【持株会社(グループ会社の経営支援)】
人材が足りない。募集数もなかなか集まらない。もっと売上を伸ばせるのに、営業日、時間の調整を行っている。【ラーメン店】
人材不足。【ソフトウェア受託開発およびSEサービス】
人材不足。【美容室、カット・カラー・パーマ】
人手不足。【不動産賃貸全般】
人手不足や残業をよしとしない影響からか、サラリーマンが多い会社では1ヶ月2ヶ月先まで工事を受注してもらえなかったりする。自営業の方は仕事を受けてもらえるので、その辺がジレンマである。【賃貸不動産の管理業務】
世界的な景気後退の不安。【ソフトウェア受託開発】

<p>入出が戻り、来客数は増えた。仕入単価が上がっているけれど、販売価格には反映できていないので、収益率が下がっている。アルバイト等、人材の確保に苦戦している。【焼き鳥がメインの居酒屋】</p>
<p>人口減少に伴う、人手不足。【ダスキンレンタル及、清掃業】</p>
<p>世の中年々賃金がアップするため、福祉に人が来ない(大変な仕事はしたくない...)。福祉は働き方改革によって、人員を使うことが難しくなっている。大手が強い為、人員の確保が難しい。【障害の方の福祉事業】</p>
<p>値上げの交渉。【新聞、医療雑貨、飲料】</p>
<p>超長期の経済状況低迷、円安による諸経費負担増など、一企業ではどうにもならない問題について、解決の糸口が見えないのは大変に不安である。しかし、企業継続のために、できることを実行し、自衛していくしかない。【不動産賃貸管理、不動産売買、不動産売買仲介、不動産コンサル】</p>
<p>賃金の上昇に伴い、諸物価が上昇してきた。【厚生労働省の障害福祉サービス、障害者就労継続支援B型事業】</p>
<p>賃金上昇による経営の圧迫。【税理士業】</p>
<p>電気料金と仕入費用の高騰、経営に圧迫している。【中華レストラン】</p>
<p>同じ業種でも、業況のいい所とそうでないところが出ている。【事業協同組合】</p>
<p>同業者の安売に影響が現れている。【社会保険労務士業】</p>
<p>入札に関し、考えられない低単価で応札する突飛な業者が存在する。一般入札に制度変更され、今後更にかかる事態が起こることが懸念される。【建物設備管理及び清掃業】</p>
<p>売上は上がっていくが、利益が上がらない。物価の高騰で何を購入するにも高い。人件費も上げないと辞める恐れがあるため挙げている。【介護、福祉、医療】</p>
<p>売上上昇より人件費、諸経費の上昇の方が大きい。【警備請負】</p>
<p>販売単価の下落。【葬儀法要】</p>
<p>福利厚生制度の整備・充実、職場環境の改善。【設計受託・請負業務・労働者派遣事業・求職者支援訓練事業】</p>
<p>物価が高騰しているが、主な収益は値上げが難しく収益性が良くない。不動産も空きテナントが入らないので賃貸収入が増えない。【不動産の売買賃貸及び管理】</p>
<p>物価の高騰。【相続・各種許認可】</p>
<p>物価の高騰。【公認会計士・税理士事務所】</p>
<p>物価高、金利、土地及び建築費高による消費者の購買意欲の減少。【宅地分譲、土地建物仲介、賃貸管理】</p>
<p>物価高騰により備品単価が上がっている。【高齢者介護事業】</p>
<p>物価上昇。【理容業】</p>
<p>物価上昇。【鍼灸・整体】</p>
<p>物価上昇、従業員の賃金上昇、人手不足、諸経費増加。【保育所運営】</p>
<p>弊社の自己判断AI(特許技術)の活用展開に注力するため、2023年からコンサルタント業務の依頼を断っている状況があり、現在コンサルタント系の売上げが無い状況にあります。特許のライセンス契約による売り上げ増に向け、講習会の開催、SNSの活用、ウェビナーの実施、オンデマンド講習会の実施など、いろいろ試してきましたが、既存AI(自動運転AIやChatGPTなど)の定義が明確になっていないことから、AIは全てコンピュータ自らが判断を行っているものと勘違い(誤認識)されている方が殆どの状況で、弊社AIのようにコンピュータ自らが複数の判断材料を基に、総合的かつ最善の判断を行うことを可能にした世界初の自己判断AI(国際調査機関が新規性・進歩性を認めたもの)を持っていても、違いがあることの認識が無いため、大手が進める生成AIに興味に向かっていて、中小企業発のAIには、見向きもしない...と言った状況を感じています。</p> <p>海外からは、特許取得後すぐに、イギリス・UAE・イタリア・インド...他、メガバンクを含む銀行からの投資依頼を受けているのですが...、日本の産業を強くしたいとの想いで起業したこともあり、日本国内からの導入を進め、海外との競争力を付けたいとの想いから海外からの依頼は全て断っている状況です。</p> <p>最近、富士重工様(SUBARU)への自己判断AIを活用したドライバー意志を反映した自動運転の回避操作...他の提案を行っているのと、併せて神奈川県産業振興センターのビジネスオーデイションに応募するなどの対応を取ってはいますが、AI定義の問題が解決しない限り、理解困難な状況は変わらないだろうと感じています。</p> <p>商工会議所さま主催の交流会にも4~5回程参加しておりますが、AIやPLM導入に関わる法人さまにお会いできたことが無く、何か直接大手企業さまとの接点が欲しいと考えております。IT・AI・PLMなどのITシステム開発における接点を持てる場がありましたら、是非、ご紹介を頂きたくよろしくお願い申し上げます。【世界初となる自己判断AI特許の活用展開・PLM開発コンサルタント】</p>

米の値上げが凄い。仕入れ単価が上がっています。米処の豪雨被害などで、農家の方の話では今年の収穫に影響すると思われます。飲食関係の方には米の備蓄を特に推奨します。【海鮮居酒屋】
不動産価格の上昇。【不動産仲介】
全体的に売り上げは少しずつではあるが増加傾向にあります。しかし更なる売上増に対応するためには、ヘルパーの増加が第一条件です。登録ヘルパーの時給を上げ、応募に対応していきます。【訪問介護】
短プラ上昇により、今後の景気動向に注視要。【金融業】
連日の猛暑で、事業活動に影響。電力消費増大。【コンサルタント、プレスの改善、プレスのトラブル、プレスのISO、プレスのSDGs】
台湾有事など大きな景気動向。【美容業】
法人向物件の動きが弱い(撤退増、新規減)。【賃貸、売買】
毎年のように最賃が上昇し、尚且つここ数年は大幅な改定により収益性が低下気味である。顧客への転嫁は即効性が薄く自社努力での対応が求められる。【清掃・警備・設備保守】
慢性的な人手不足。【海外引越の現場作業】
猛暑で客足減少。【カフェ、レストラン】
問題なし。【人材派遣業】
利益不足。人財不足。【海鮮居酒屋】
利用者への値引きの為の下請けにシワよせが来る。【冠婚葬祭業(業務全般の下請)】
空いた時間に勉強させてくれる商工会議所に感謝している。【占い、セラピー、リドンブランドの販売】
料金の値上げができず理容業の不人気で従業員不足。【理容業】
歴史的な円安、国内の輸出量が増加しているにも関わらず、弊社の取扱う貨物の輸出量は低迷している。何故。不思議。【こん包業】

## 経営上の問題点

### 単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=823)

	回答割合
売上不振	32.4% 267
受注単価・販売価格の低下	9.4% 77
収益率の低下	27.2% 224
個人消費の低迷	13.1% 108
販売先の減少	9.1% 75
大型店の進出	0.2% 2
チェーン店等との競争激化	0.0% 0
公共工事の減少	2.3% 19
民間工事の減少	5.3% 44
仕入単価の上昇	40.9% 337
円安の影響	10.8% 89
円高の影響	2.2% 18
代金回収困難	1.8% 15
諸経費の増加	25.3% 208
従業員(含、臨時)が過剰	0.9% 7
従業員(含、臨時)が不足	31.6% 260
設備不足・老朽化	14.5% 119
特になし	7.5% 62

### 製造業

今回調査を見ると、「収益率の低下」「設備不足・老朽化」「受注単価・販売単価の低下」が増加し、「円安の影響」が減少した。価格転嫁はなかなか進んでいないようである。

	R5年7~9月 n=179	R5年10~12月 n=161	R6年1~3月 n=153	R6年4~6月 n=235	今回調査 n=209
売上不振	33.5%	37.3%	36.6%	43.4%	44.5%
受注単価・販売価格の低下	10.1%	11.2%	10.5%	9.4%	11.5%
収益率の低下	24.0%	26.7%	33.3%	27.2%	33.5%
個人消費の低迷	1.1%	1.2%	3.3%	4.7%	4.3%
販売先の減少	8.4%	9.3%	5.2%	11.5%	10.0%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.1%	1.2%	2.0%	0.9%	1.0%
民間工事の減少	1.7%	1.9%	0.7%	0.9%	2.4%
仕入単価の上昇	42.5%	47.2%	49.0%	52.3%	48.8%
円安の影響	15.1%	16.8%	16.3%	20.0%	16.7%
円高の影響	1.7%	1.9%	0.7%	1.7%	1.9%
代金回収困難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
諸経費の増加	26.3%	29.2%	26.8%	21.7%	20.6%
従業員(含、臨時)が過剰	0.0%	0.0%	1.3%	1.7%	1.4%
従業員(含、臨時)が不足	24.6%	27.3%	28.1%	25.5%	23.4%
設備不足・老朽化	13.4%	14.9%	18.3%	18.3%	19.1%
特になし	6.1%	6.8%	3.9%	5.5%	4.3%

## 経営上の問題点

### 建設業

前期と比較して、「民間工事の減少」が増加した。「円安の影響」。「公共工事の減少」が減少した。民間部門が不調になっているようである。

	R5年7～9月 n=112	R5年10～12月 n=95	R6年1～3月 n=85	R6年4～6月 n=170	今回調査 n=157
売上不振	20.5%	24.2%	14.1%	20.6%	21.0%
受注単価・販売価格の低下	12.5%	14.7%	14.1%	13.5%	13.4%
収益率の低下	24.1%	28.4%	35.3%	25.9%	24.2%
個人消費の低迷	6.3%	7.4%	5.9%	5.9%	5.1%
販売先の減少	3.6%	4.2%	5.9%	5.9%	5.1%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
チェーン店等との競争激化	0.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	12.5%	14.7%	12.9%	10.6%	7.0%
民間工事の減少	9.8%	11.6%	12.9%	14.1%	15.9%
仕入単価の上昇	37.5%	44.2%	55.3%	60.6%	53.5%
円安の影響	6.3%	7.4%	2.4%	9.4%	6.4%
円高の影響	0.9%	1.1%	0.0%	3.5%	3.2%
代金回収困難	1.8%	2.1%	0.0%	2.4%	3.8%
諸経費の増加	19.6%	23.2%	27.1%	26.5%	26.8%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	30.4%	35.8%	42.4%	50.0%	47.1%
設備不足・老朽化	4.5%	5.3%	4.7%	7.1%	7.0%
特になし	7.1%	8.4%	5.9%	4.1%	4.5%

### 小売業・卸売業

「個人消費の低迷」、「仕入単価の上昇」「諸経費の増加」が増加し、「売上不振」「収益率の低下」「円安の影響」が減少した。コスト増加が続いているようである。

	R5年7～9月 n=97	R5年10～12月 n=86	R6年1～3月 n=90	R6年4～6月 n=148	今回調査 n=123
売上不振	36.1%	40.7%	41.1%	38.5%	34.1%
受注単価・販売価格の低下	4.1%	4.7%	8.9%	3.4%	8.1%
収益率の低下	26.8%	30.2%	35.6%	28.4%	20.3%
個人消費の低迷	26.8%	30.2%	30.0%	30.4%	31.7%
販売先の減少	16.5%	18.6%	17.8%	12.2%	20.3%
大型店の進出	2.1%	2.3%	1.1%	2.0%	0.8%
チェーン店等との競争激化	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.0%	1.2%	1.1%	0.0%	0.8%
民間工事の減少	0.0%	0.0%	3.3%	2.0%	4.9%
仕入単価の上昇	47.4%	53.5%	41.1%	45.3%	47.2%
円安の影響	14.4%	16.3%	25.6%	19.6%	13.8%
円高の影響	1.0%	1.2%	1.1%	4.7%	0.8%
代金回収困難	1.0%	1.2%	1.1%	1.4%	1.6%
諸経費の増加	19.6%	22.1%	18.9%	23.6%	24.4%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.8%
従業員（含、臨時）が不足	14.4%	16.3%	15.6%	14.9%	22.0%
設備不足・老朽化	8.2%	9.3%	13.3%	7.4%	13.0%
特になし	2.1%	2.3%	1.1%	4.7%	4.1%



## 経営上の問題点

### 飲食業・サービス業

「売上不振」、「従業員が不足」、「設備不足・老朽化」が増加した。「販売先の減少」が減少した。売上が伸びないのに従業員が不足する厳しい状況のようである。

	R5年7～9月 n=279	R5年10～12月 n=236	R6年1～3月 n=228	R6年4～6月 n=324	今回調査 n=334
売上不振	26.2%	30.9%	27.6%	24.1%	29.6%
受注単価・販売価格の低下	5.4%	6.4%	4.4%	6.8%	6.6%
収益率の低下	23.7%	28.0%	26.3%	26.9%	27.2%
個人消費の低迷	12.2%	14.4%	17.1%	15.1%	15.6%
販売先の減少	7.9%	9.3%	5.3%	8.6%	6.3%
大型店の進出	0.7%	0.8%	0.9%	0.6%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.1%	1.3%	1.8%	0.9%	1.5%
民間工事の減少	1.8%	2.1%	1.8%	2.5%	2.4%
仕入単価の上昇	26.2%	30.9%	30.7%	35.2%	27.8%
円安の影響	6.1%	7.2%	7.0%	9.9%	8.1%
円高の影響	0.7%	0.8%	0.9%	1.5%	2.4%
代金回収困難	2.5%	3.0%	2.2%	1.9%	1.5%
諸経費の増加	25.4%	30.1%	26.3%	30.9%	27.8%
従業員（含、臨時）が過剰	1.1%	1.3%	0.0%	2.2%	0.9%
従業員（含、臨時）が不足	25.4%	30.1%	32.5%	31.5%	32.9%
設備不足・老朽化	10.0%	11.9%	11.8%	12.3%	15.6%
特になし	9.3%	11.0%	13.6%	12.0%	12.3%